

『『伝統を受け継ぐ』とはどういうことだろう』 ～自分たちが残せる文化の在り方を考えよう～

本単元で育成する資質・能力

つながる知識 試行錯誤力 主体性・協働性

1 単元について

(1) 単元観

本単元は、探究課題「私たちが育ててくれたもの」を踏まえて、構想した単元である。小学校生活6年間を支えてくれた人々や自校の伝統・歴史を知り、そこから自分たちにできることを、他者と協働しながら考え、実行する学習活動に取り組む。それらを通して、納得解や最適解を自分たちなりに見出し、後輩に残すべきものやこれからの地域との関わり方について考えていくことで、地域の未来と自己の生き方へつなぐと考え、本単元を設定した。

(2) 児童観

資質・能力獲得状況に関する質問紙の結果、以下のような傾向がみられた。

質問	肯定的回答	課題
課題の解決に向けて、自分で考え、取り組んでいます。 【主体性】	85%	・集めた情報の中から自分で課題を見付けたり、解決策を考えようとしたりすることができていない。

本学級の児童は、自分の意見を友達に伝えることや友達の意見を受け止めるなど、主体的・協働的に話し合い活動を行うことができている。5学年までの「小路のまち尾道」や「空き家再生プロジェクト」など、地域をテーマにした題材でも、児童は意欲的に課題に取り組んできた。一方で、自ら課題を設定することや、課題の解決に向けて、探究のプロセスを意識して取り組むことには課題が見られる。このことから、探究のプロセスを繰り返すことで自分たちが見つけた課題の解決に繋がるという実感が足りていないと考えられる。探究のプロセスを踏むことで自分たちが設定した課題の、納得解を導けると実感することで、児童の主体性・協働性がより発揮されることが考えられる。

(3) 指導観

児童観で述べた課題を解決するために、次の3点の指導の工夫を取り入れる。

1点目は、課題の設定を細かく行うことである。これにより、探究のプロセスを基に計画を見直したり、課題のレベルを上げられるようにしたりする。1学期は、教師の働きかけが多くなってしまったこともあり、児童の意欲的だが受け身である姿勢を、児童主体に切り替えていく。

2点目は、課題について小集団で探究を進めながら、共有・議論の場を繰り返し設定することである。探究のプロセスを進める上で、情報収集の仕方や、実行後の振り返りについて、全体で話し合う場を設けることで、どの課題も自分事として捉え、解決に向けての探究方法を自分たちで修正する力を付けられるようにする。

3点目は、ルーブリックを活用した振り返りや自己評価を継続的に行うことである。振り返りや自己評価、相互評価をすることで、児童自らが、育成を目指す資質・能力に着目できるようにする。

これら3点の指導の工夫を取り入れ、本中学校区で育成を目指す主体性・協働性を育てていきたい。

課題の設定では、1学期に学んだ自校の大きな特色である土堂っ子太鼓の歴史を基に、自分たちが太鼓を通して何をすべきかを考えさせ、その目的について想起させる。それらの目的を達成するための学習計画を児童に立てさせ、単元のゴールとそこに至るまでの見通しをもたせる。また、単元の目標を達成するために必要な資質・能力を設定する。

情報の収集では、探究課題の解決に向けて後輩にアンケートを取ったり、地域の現状や解決方法について情報を収集させたりする。収集方法の見通しをもたせてから活動したり、外部との連携や情報提供の準備をしたりしておき、児童が主体的に情報収集に取り組めるようにする。

整理・分析では、情報収集で得た内容を共有・分類し、共通点を探り、実行に繋げる。その際、自分たちの実行に生かすだけでなく、他のグループへのアドバイスも行うようにする。

まとめ・創造・表現では、解決策の実行に向けて、他者と協働しながら準備を進め、実行させる。また、振り返りでは、探究的な学習を通して、自分の成長を振り返り、今後の自己の生き方について考えさせる。

2 単元の目標

自分たちの成長を支えてくれた土堂っ子太鼓を生かして、後輩や地域にできることはないかを考える探究的な学習を通して、自分たちの行動が学校や地域の未来につながっていることを理解し、これからの自分の生き方や地域とのかかわり方について考えるとともに、地域社会と積極的にかかわることができるようにする。

3 単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
① 自校の文化は、先輩方や地域の人たちによって守られてきたことを知り、自分たちの行動が、それらを守ることや地域のためになることを理解している。 ② インタビューやアンケート調査など場面に応じた方法で実施している。【つながる知識】 ③ 地域の未来と自分の生き方に対する考え方の高まりは、探究的に学習してきたことの成果であると気付いている。	① これまでの学習や地域の現状をもとに課題を設定するとともに、解決に必要な方法や手順を考え、見通しをもって学習の計画を立てている。 ② 課題を解決するための必要な情報について、収集方法を選択したり、共通点を見付けながら蓄積したりしている。 ③ 収集した情報を比較、分類しながら解決策の方向性を考え、決定している。 ④ 目的や相手を意識した表現をするために、課題を交流したり改善点をアドバイスしたりしている。【試行錯誤力】	① かかわりを通して、お互いのよさに気付いたり、他者の考えを受け入れたりしながら、課題解決に取り組もうとしている。 ② 探究課題の解決に向けて、自分から進んで取り組み、友達の意見を大切にしながら自分たちの納得解を見出そうとしている。【主体性・協働性】 ③ 地域の一員であることを自覚し、地域のためにできることを考え、意欲的に取り組もうとしている。

4 単元における長江中学校区で育成を目指す資質・能力のルーブリック

評価		B	A
資質・能力			
学びに向かう力、人間性等	主体性 ・ 協働性	<ul style="list-style-type: none"> • よりよい取組や活動にするために、自分で課題を見付けている。 • 課題を解決するための方法を考え、取り組もうとしている。 • よりよい取組や活動にするために、他者の意見のよい部分を見付けようとしている。 • 他者の意見のよい部分を参考にし、内容や方法を付け加えたり、修正したりしようとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> • よりよい取組や活動にするために、自分で課題を見付け、友達に伝えようとしている。 • 課題を解決するための方法を複数考え、課題解決のために最適なものを選んで取り組もうとしている。 • よりよい取組や活動にするために、他者の意見のよい部分を見付け、取り入れようとしている。 • 他者の意見のよい部分の中から自身の取組にふさわしい部分を参考にし、内容や方法を付け加えたり、修正をしたりしようとしている。

5 指導と評価の計画（30時間）※児童の思考状況によって、随時変更。

【本質的な問い】「伝統を受け継ぐ」とはどういうことか。

【単元を貫く問い】太鼓を通して、自分たちができることは何なのか。

小単元名（時数）	ねらい・学習活動	知	思	態	評価方法	他教科との関連
課題の設定 1 太鼓を通して自分たちができることは何だろう。 （3）	<ul style="list-style-type: none"> • 自分たちが探究すべきテーマを設定し、目的を共有する。 • 探究テーマによるグループ分けを行う。 • 自分たちの目標を達成するためのおおまかな学習計画を立てる。 • 探究的な学習を通して、なりたい自分と身に付けたい資質・能力を設定する。 		①	②	行動観察 ワークシート	
情報の収集 整理・分析 2 後輩たちに伝統を引き継ぎ、地域の人に恩返しをするためには？ （7） 本時 10/30 （7/7）	<ul style="list-style-type: none"> • 探究課題について、必要だと思ふことを考え、小課題を設定する。 • 探究課題の解決に向けて、後輩にアンケートを取ったり、地域の現状について情報を収集したりする。 • 収集した情報を内容ごとに分類し、傾向をつかむ。 • 地域の現状を整理し、自分たちが 	②	②	②	行動観察 ワークシート ルーブリック活用 【自己・相互評価】	
	<ul style="list-style-type: none"> • 収集した情報を内容ごとに分類し、傾向をつかむ。 • 地域の現状を整理し、自分たちが 	①	③	③	ワークシート ルーブリック活用 【自己・相互評価】	国語科

	<p>できることとのつながりを見付ける。</p> <ul style="list-style-type: none"> 探究課題の解決策について、根拠をもとに考え、決定する。 					<p>【話し合って考えを深めよう】</p> <ul style="list-style-type: none"> 互いの意見を分類したり整理したりして、考えを広げたりまとめたりする。
<p>まとめ・表現</p> <p>振り返り</p> <p>3 後輩に伝統を引き継ぎ、地域の人へ恩返しをしよう。</p> <p>(20)</p>	<ul style="list-style-type: none"> 決定した解決策の実行に向けて、準備に取り組む。 解決策の実行が目標の達成につながっているのか、お互いに意見を交流し、修正や付け加えをする。 決定した解決策を実行する。 	④	①	<p>行動観察</p> <p>ワークシート</p> <p>ルーブリック活用</p> <p>【自己・相互評価】</p>		<p>道徳</p> <p>【ほくらの学校】</p> <ul style="list-style-type: none"> 母校があることの喜びを確認し、よりよい学校を作ろうとする態度を養う。
	<ul style="list-style-type: none"> これまでの活動を通して、資質・能力の獲得や自己・相互による取組などを振り返り、地域の未来や今後の自己の生き方について考える。 	③	③	<p>ルーブリック活用</p> <p>【自己評価】</p>		

6 本時の展開

(1) 本時の目標

ゲストティーチャーの話を整理し、地域の課題の改善策を考え、自分たちにできることは何か見付けている。【思③】

(2) 本時の学習過程 (7/30)

段階	学習活動 ★主体性・協働性を高めるための活動	教師の働きかけ 支援○ 評価☆ 方法【】
課題設定 (5分)	<p>○前の時間を振り返る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ゲストティーチャーから土堂地区の現状を聞いた。 課題を聞いてみると、初めて知ったこともたくさんあった。 <p>○本時の学習課題をつかむ。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>ゲストティーチャーの話を整理し、自分たちにできることは何か考えよう。</p> </div>	<p>○前時の振り返りから、学習課題を確認し、本時の見通しをもたせる。</p> <p>○単元計画を見ながら、自分たちの活動が探究のプロセスのどの部分にあたるのか確認させる。</p>
課題解決 (35分)	<p>○前回聞いた話から、課題について整理する。</p> <ul style="list-style-type: none"> 学校が移転して、地域の人がさみしいと言っていたと聞いたよ。 お年寄りが孤立しないようにしないといけない、というのは深刻な課題だったね。 コロナで人が集まる機会がなくなって、コミュニケーションが取りづらくなっているみたいだね。 <p>○これらの課題はどうすれば解決できそうか考える。</p> <p>★グループで解決策を考える。</p>	<p>○ジャムボードを活用して出てきた課題の解決策を共有しやすいように配置を工夫させる。</p>

<p>課題解決 (35分)</p>	<p>★全体で交流する。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 地域の人が仲良くなるきっかけがあると孤立しにくくなるんじゃないかな。 • お祭りもなかった年があったから、そういうものの代わりになるものがあるといいね。 <p>○自分たちが取り組むことができそうな解決策を取り出す。</p> <p>★個人で思考した後に、グループで解決策をカードに書く。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 前の校舎の体育館が使えると言われているから、太鼓を使ってお祭りのようなものができるかな。 • お年寄りの方が仲良くなる場にしたら、孤立しないよという課題も解決できると思う。 • どうやって人を集めたらいいんだろう。 <p>○まとめをする。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> 土堂っ子太鼓を使って、お年寄りが楽しめるコミュニケーションの場を作る。 </div>	<p>○グループの共有をジャムボードで行い、全体の共有を黒板で行うことで、情報の整理をしやすくする。</p> <p>☆解決策と自分たちにできることをつなげて考え、自分たちの納得解を見いだそうとしている。</p> <p style="text-align: right;">【行動観察、ワークシート】</p>
<p>振り返り (5分)</p>	<p>○本時の学習を振り返る。</p> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; margin-top: 10px;"> <p>• 最初は、自分たちで地域の課題を解決するのは難しいと思っていたけど、解決策から自分たちができることをつなげて考えることで、私たちにもできることがあるんだと気付きました。でもまだ課題はあるので、次からは実現するために必要なことを考えていきたいです。</p> </div>	<p>○振り返りの視点を与え、簡潔に書かせる。</p> <ol style="list-style-type: none"> ①今日の学び ②これからやりたいこと ③今後の課題

(3) 板書計画

